

平戸市世界遺産サテライトセンター

■長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

平戸の聖地と集落「春日集落と安満岳」「中江ノ島」



撮影：日暮雄一

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は平成30年7月に世界遺産登録になりましたが、平戸市内には「春日集落と安満岳」「中江ノ島」の二つの構成資産があります。平戸は世界遺産地域の中で最初にキリシタン布教が始まった場所(1550年)で、春日集落は布教・禁教当時の景観を、中江ノ島は布教当時の聖水信心の聖地であるとともに、1622～24年に信者が処刑された殉教地でもあります。生月島で継承されるかくれキリシタン信仰・信者のあり方からは、キリシタン信仰の形態や、禁教期の信仰並存の様相について知る事ができます。また平戸島東岸や田平にある教会は、江戸時代後期と明治時代に外海地方(長崎市北部)から移住した外海系のかくれキリシタン信者(のちカトリックに合流)やカトリック信者が建てたものです。平戸地方は、キリシタンの歴史や文化を詳しく学べる場所なのです。

ミュージアムショップ



世界文化遺産関連商品
書籍、CD、絵はがき、
キーホルダーetc

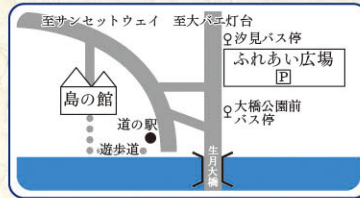
くじらの商品を豊富に取り揃えております。
書籍、食品、フィギュア、
キーホルダーetc
「クジラ髭」を使った
商品は珍しいです。



平戸市生月町博物館・島の館のご案内

〒859-5706 長崎県平戸市生月町南免4289番地1
(公財)平戸市振興公社 平戸市生月町博物館・島の館
TEL 0950-53-3000 FAX 0950-53-3032
<http://www.hira-shin.jp/shimanoyakata/>

交通アクセス



鉄道	博多駅	JR	佐世保駅	たびら平戸口駅	バス	バス	生月
	長崎駅	JR	MR	バス	約30分		
	佐賀駅	JR	約80分	約10分			
バス	博多	高速バス	佐世保	バス	約30分		
	長崎	高速バス	約90分				
自動車	博多	唐津	伊万里	約60分	約25分		
	長崎	長崎自動車道～西九州自動車道	佐々IC	約30分	約25分		
	佐賀	佐賀大和IC	佐々IC	約30分	約25分		

□観覧料(お一人様分)

区分	大人	高校生	小中生
個人	520円	310円	210円
団体	15名以上 470円	280円	190円
	50名以上 420円	250円	170円
団体	100名以上 320円	190円	130円
障害者(個人・団体)	260円	160円	110円
年間パスポート	1,040円	620円	420円

※身障者割引を受けられる方は、
身障者手帳をご提示下さい。
※身障者トイレ(各階1箇所)、車イス、
ベビーカー完備。
※年間パスポートは購入月から1年間
有効。何度でも入館できます。

- 開館時間/ AM9:00～PM5:00(最終受付PM4:30)
- 休館日/ 正月(1日、2日) 燻蒸等によるメンテナンスの為臨時休館有
- 駐車場/ 無料(乗用車56台、バス6台)
- 解説/ 予約により博物館内、生月島内をご案内致します。
※島内案内のみ有料(3日前まで受付)

関連施設のご案内

春日集落と安満岳 世界文化遺産
春日集落拠点施設「かたりな」
春日集落で継承されてきた「かくれキリシタン信仰」のご神体が展示されている他、地元の人から集落の魅力や信仰の話を聞くことができます。
開館時間/午前8時30分～午後5時30分
休館日/12月31日～1月3日
入場料金/無料
施設情報/展示、映像、図書、多目的、売店、交流コーナー
その他/Free Wi-Fi、電動アシスト自転車レンタルなど
〒859-5373 長崎県平戸市春日町1166-1
Tel 0950-22-7020

平戸市切支丹資料館
主に根獅子(おしこ)地区のかくれキリシタン信者の資料を展示しています。
資料館裏の林は、現在なお聖地「おろくにん様」として大切にされています。
開館時間/午前9時～午後5時30分
休館日/毎週水曜日 12月29日～1月2日
入場料金/大人200円・高校150円・小・中・70円
団体割引…30名様以上2割引
〒859-5376 長崎県平戸市大石脇町1502番地1
Tel&Fax 0950-28-0176



平戸市生月町博物館・島の館



塩俵の断崖

しま やかた いきつきしま 島の館は、生月島の魅力を伝える博物館です

生月島は海と関わりながら歴史を綴ってきました。豊かな海の恩恵を受け、江戸時代には日本最大の鯨組・益富組の本拠地となり、明治後期に始まった鰯巾着網は遠洋まき網へと発展します。海は、もの、ひと、文化を伝える道(航路)にもなり、戦国時代ヨーロッパから伝わったキリシタン信仰は、永い禁教の時代を経て今日まで受け継がれてきました。島の館で海が育んだ歴史と文化を体感してください。

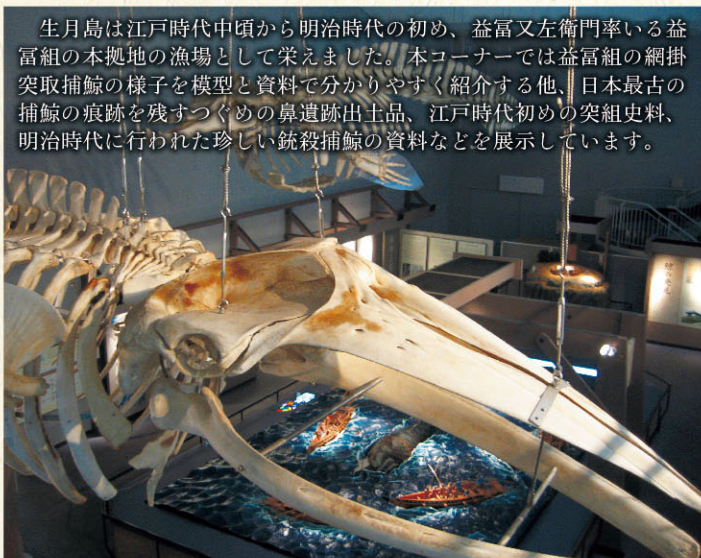


生月大魚鑑観音

勇魚とりの物語

1階第1展示室

■日本における捕鯨の歴史と文化を分かりやすく紹介



生月島は江戸時代中頃から明治時代の初め、益富又左衛門率いる益富組の本拠地の漁場として栄えました。本コーナーでは益富組の網掛突取捕鯨の様子を模型と資料で分かりやすく紹介する他、日本最古の捕鯨の痕跡を残すつぐめの鼻遺跡出土品、江戸時代初めの突組史料、明治時代に行われた珍しい銃殺捕鯨の資料などを展示しています。



江戸時代生月島の鯨取りの様子をジオラマにて紹介。



江戸時代の捕鯨の様子を忠実に再現した大型ジオラマ



捕鯨図説『勇魚取絵詞』



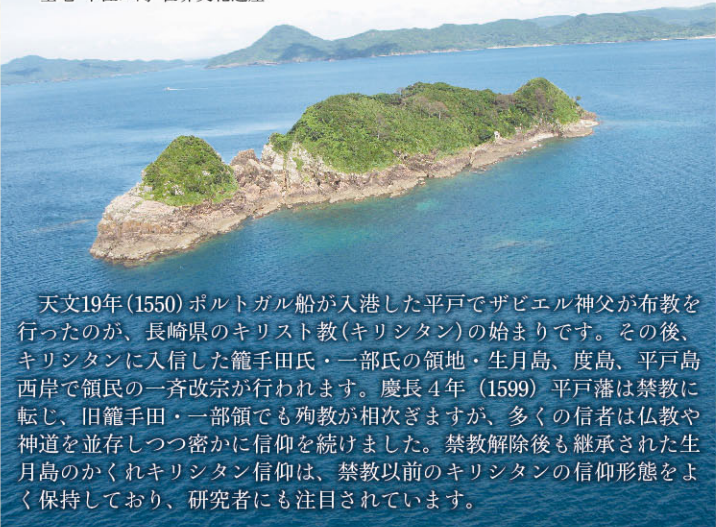
生月島出身で日本一の巨漢の力士
生月館大左衛門
(身長227センチ)

かくれキリシタン

2階第3常設展示室

■450年間、厳しい弾圧を耐えて受け継がれた信仰の奇跡

聖地 中江ノ島 世界文化遺産



天文19年(1550)ポルトガル船が入港した平戸でザビエル神父が布教を行ったのが、長崎県のキリスト教(キリシタン)の始まりです。その後、キリシタンに入信した籠手田氏・一部氏の領地・生月島、度島、平戸島西岸で領民の一斉改宗が行われます。慶長4年(1599)平戸藩は禁教に転じ、旧籠手田・一部領でも殉教が相次ぎますが、多くの信者は仏教や神道を並存しつつ密かに信仰を続けました。禁教解除後も継承された生月島のかくれキリシタン信仰は、禁教以前のキリシタンの信仰形態をよく保持しており、研究者にも注目されています。



館内の復元住居内で
オラジヨを唱える信者

かくれキリシタンの御神体



聖母子のお掛け絵



ザビエルのメダイ



殉教地ニガスバル様

島の暮らし

2階第2常設展示室

■海と大地とともに生きる人々の暮らしと祈り

生月島の浦集落では江戸時代から定置網や潜水漁が行われ、明治後期に始まった鰯巾着網は昭和初期以降、遠洋まき網漁業へと発展します。在部集落では水田稲作や畑作の傍ら、農閑期に港湾建設や酒造りの出仕事が行われます。生業に関連する信仰や祭も紹介しています。



漁料の正月飾り・シャギ(鰯浦)



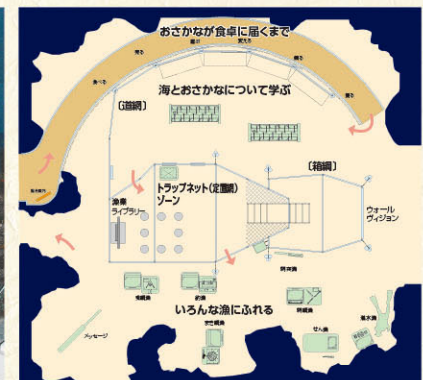
須古踊り(鰯浦)

フィッシャーマンズアリーナ

1階第4常設展示室

■おさかなと漁業について学ぶ

海に囲まれた平戸市の漁業について、漁法を中心に、経済、生態、環境などから重要性や面白さを紹介しています。定置網の仕組みを再現した大型展示、様々な漁法を紹介した映像、魚の画像にタッチすると解説が現れるウォールビジョンなど見所満載です。



常設展示のほかに、企画展示室では絵画、写真などの美術展や、企画展が開催されています。また関係図書が閲覧できる図書室も完備しています。